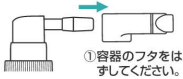


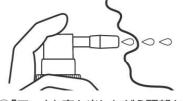


開封年月日
年 月 日
開封後に開けてください

使用方法



① 容器のフタをはずしてください。



② 「アー」と声を出しながら頭部を押して、患部に薬液を2〜3回直射してください。
※最初は薬液が出るまで4〜5回押ししてください。
※薬液がノズルの先端にたまった時は、液だれを防ぐため清潔なティッシュペーパー等で拭き取ってください。
※温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなることがあります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。



③ 使用後は、フタをもとの位置にはめてください。



ノズルの先端を針等で突くと薬液が出にくくなります。折れた時大変危険です。絶対におやめください。

2308A07

ディアポピー 30mL 第3類医薬品

SHINGANE 口腔咽喉薬 第3類医薬品

のどの炎症による
つらいのどの
痛み・はれに
のどスプレー

殺菌成分配合
ポビドンヨード

ディアポピー 30mL



製造番号
使用期限

第3類医薬品 ディアポピー

のどの炎症によるのどあれ・効能・効果 のどの痛み・のどのはれ・のどの不快感・声がれ

成分・分量 (100mL中)
ポビドンヨード 0.45g

添加物としてヨウ化カリウム、L-メントール、還元麦芽糖水アメ、グリセリン、プロピレングリコール、エタノール、サッカリンナトリウム水和物、香料を含有する。
(成分・分量に関連する注意)
本剤の使用により、銀を含有する歯科材料(義歯等)が変色することがあります。

保管及び取り扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる場合があります。)(4) 薬液が衣服等に付着すると着色します。付着した場合はすぐに水でよく洗い落としてください。(5) ノズルの先端の穴を針等で突かないでください。使用時に薬液が出にくくなる場合があります。(6) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。(7) 温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。(8) 火気に近づけないでください。

発売元: 白金製薬株式会社
〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515
お客様相談室 TEL: 0744-21-5588
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)
製造販売元: ダイア製薬株式会社
〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515
副作用救済制度 ☎ 0120-149-931



開封口 第3類医薬品

販売名: ディアポピー
ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

△ 使用上の注意

※【してはいけないこと】
(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。) 1. 次の人は使用しないでください。本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。2. 長期連用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 次の診断を受けた人。甲狀腺機能障害。(4) 次の症状のある人。口内のひびき。 (5) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(6) 授乳中の人。2. 使用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
口	あれ、しみる、灼熱感、刺激感
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気
その他	不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診断を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の障害等があらわれる。

3.5〜6日間使用しても症状がよくならない場合は、使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

用法・用量

1日数回量をのどの粘膜面に噴射塗布してください。

(用法・用量に関連する注意)(1) 定められた用法・用量を守ってください。(2) 息をきりながら使用すると、薬液が気管支や肺に入ることがありますので、ノズルを舌部に向けて、軽く息をはきながら、2〜3回直射してください。(3) 本剤はのどの炎症への噴射塗布だけに使用し、鼻や目への使用や、飲用はしないでください。(4) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。(5) 目に入らぬよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合は、眼科医の診断を受けてください。